



# No. 173 平成31年2月20日 PTAいしかわ

発行：石川県PTA連合会 金沢市尾山町10-5 石川県文教会館  
http://ishikawa-pta.jp.

### 主題

子どもたちのより良い成長を願い、大人自ら学び、行動しよう！



### INDEX

- ・石川県PTA大会 ————— 1面
- ・記念講演 ————— 2面
- ・専門委員会 ————— 2面
- ・地区別研究指定 ————— 3面
- ・表彰 ————— 4面
- ・石川県PTA連合会近10年の歩み ————— 4面
- ・三行詩コンクール ————— 4面

本日は第65回石川県PTA大会、創立70周年記念大会に公私共々お忙しい中、この様に多数の出席をいただきまして感謝を申し上げます。

さて教育とは大変長い時間をかけて育まれるものだと思います。本日はよろしく願いいたします。(要約)



石川県PTA連合会会長 紙谷一成

### あいさつ

大会は中学生・少年の主張の発表で幕が開けました。表彰式では、県知事感謝状並びに功労のあった団体・個人と三行詩コンクール優秀賞受賞者が表彰されました。(4面に掲載)

第六十五回 石川県PTA大会  
— 創立七十周年記念大会 —  
平成30年12月1日(土) 午後1時30分  
ホテル日航金沢

「今しか聴けない話」「いただきますの意味」「Do anything as you can!」

優秀賞 加賀市立山中中学校二年 新家 彩桃さん

優秀賞 七尾市立七尾東部中学校三年 生長 陽仁さん

最優秀賞 金沢大学附属中学校三年 杉原 史緒梨さん

発表の内容は、石川県民運動推進本部のホームページ「子ども若者運動推進「少年の主張」」で閲覧できます。

生まれるものではないと思います。戦後間もない昭和23年に設立され七十周年を迎える県PTA連です。すけれども、この様に今日まで長きに亘り活動を続けています。今ある我々の活動も教育と同様、今の子どもたちのみならず、未来の子どもたちにも繋がっていると考えると、こうやって70年間もバトンを渡してきた先達に対して心からの敬意と感謝の意を表したいと思えます。

これから我々が、経験したことのないような環境の変化が起こり、答えが見いだせないような社会がやって来ることは想像できるわけです。そういった中で私たちがどうあるべきかと言いますとやはり大人でありながらしつかり謙虚に学び続ける姿勢、これが大事だというふうに思えます。そのためにも単位PTA、それぞれの市町PTA、石川県PTA連合会というものが存在するのだと思います。我々は皆さんと共に、さらに学びを深め、たくましく、健康やかに子どもたちが成長できるように活動していきたいと思えます。本日はよろしく願いいたします。(要約)

### 有害情報から子どもたちを守るために

- ケータイのリスクを教え、正しい判断ができるまで持たせない
- どうしても持たせる必要がある場合でも、必ずフィルタリングをつける
- パソコンやゲーム機は、使用のルールを決め、きちんと守らせる

私たちは、10年程前から金沢大学と連携し、学力調査は何を目的としているのか、それに

- ・法律改正により知事も教育行政に関わっていること
  - ・教員の世代交代が、ここ10年で著しいこと
  - ・教員の多忙化の実態分析と対応について
  - ・アメリカの教育視察から学力向上と心の教育のバランスを取る難しさを感じたこと
  - ・学力向上について金沢大学と連携していること
- (など述べられた)

第65回石川県PTA大会、70周年記念大会の開会にあたり、お祝い申し上げます。貴連合会は昭和23年に発足以来、70年の長きにわたり本県のPTA活動の充実強化と学校教育の振興に寄与するとともに、日頃より会員の資質向上を目指して



石川県知事 谷本正憲氏

### ご祝辞

対してどう対応していけばいいのかということの研究してまいりました。10年くらい前、学力調査の結果では、石川県は10位台、真ん中よりもちょっと上ぐらいでしたが、10年間そういう地道な努力を積み重ねてきた結果、最近ではトップクラスのレベルまであがってきたということです。

紙谷会長の話にも「教育とは時間がかかる」ということがありました。我々の取組も10年くらいの時間がかかりましたが、私はこの連携は極めてうまくいっているのではないかと思います。

このような連携を今後もとりながら、私たちは石川の子どもたちがのびのびと健康にたくましく成長していけるような事業を作り出していかなくてはなりません。知事部局の立場からも石川県の教育が間違つた方向に行かないように、正しい方向に向かうために、県教育委員会と一緒にこれからも取り組んでまいりたいと思います。

どうかPTAの皆様も、思いとベクトルを同じくし、子どもたちの健やかな育ちにご協力いただきますようお願いを申し上げます。お祝いの言葉にさせていただきます。本日は大変おめでとございます。



運動+学習  
笑顔+やる気で育てる!  
放課後等デイサービス  
児童発達支援事業

子どもプラス金沢教室  
〒921-8031 金沢市野町3丁目1番10号 野町パリエ2階  
TEL/FAX 076-244-2112

子どもプラス金沢南教室  
〒921-8116 金沢市泉野町3丁目11番3号 NSビル2階  
TEL/FAX 076-244-5880

放課後プラスいずみの教室  
〒921-8034 金沢市泉野町4丁目4-4 北川ビル1階  
TEL/FAX 076-245-0322

各教室無料体験受付中!  
児童発達支援事業・放課後デイサービス

体験受付はこちらまで  
〒921-8031 金沢市野町3丁目1番10号 野町パリエ2階  
TEL/FAX 076-244-2112

子どもプラスかむざわ  
(ホームページ) http://www.kp-kanazawa.com

IKUEI SPRING SCHOOL 2019

夢に向かって、大きくはじめる一歩。  
育英の春期講習

まずは体験授業で菁英を体験!  
無料体験授業 随時受付中!

3/25 MON START!  
早期申込「割引」実施中  
3/13(水)22時まで 新高1生は3/19(木)17時まで  
春期講習受講料を1,080円割引!!!

お申し込みお問い合わせ  
0120-115557  
平日/13:30~22:00 日曜/10:00~17:00

金沢育英センター  
小・中・高 一貫指導



記念講演

「変化の時代に求められるリーダーとは」  
講師 山元 賢治氏 (株)コミュニケーションCEO 兼 Founder

(講演は90分みっちり参加者を引ききつめるものでした。ここでは、限られた紙面のため部分紹介になります。)

日本を元気にしたい。日本の復活を引っ張ってくれる未来の坂本龍馬をつくりたい。

インターネット時代、劇的に変化が速い。今までのリーダーシップは世界に通用しない。

42年前、17歳でコンピューターを始めた当時IBMの一番高価なコンピュータは一台60億円以上、処理能力は10万円の時代のiPhoneの方が速い。そういう劇的な変化の時代を生きた抜いた。最大の経験は約400回の海外出張。多くの日本人は旅行だけで日本の世界を知らない。

私は、日本の復活の為に私の経験をいろんな人に出している。Appleを退社して9年、来々60歳、年間約100回の講演や塾生(7割が経営者)に世界で戦うために今の日本の標準では少し生温いことを教えている。今日の話も、自分のリーダーシップや経営、お子様の未来のために活かして欲しい。(詳しくは著書「覚悟の108」参照)

『The Only constant is Change』地球上で真実があるとなれば変化だけ。



進化が止まった生物は地球では絶滅する。人間は進化を続けているので生存。約70億人という不思議な数字、このバランスは神の業。100億なら資源が不足し、食物が無く、愚かな人間は一斉に争い始める。我々はこの奇跡の時代に命をもらい何かを成すべき。

仕事をして得るのはお金と名誉。人よりお金が欲しい、有名になりたい、そういうときに大事だが死ぬときは何も持たない。私は32歳のとき生後23日の二番目の子も持った。その時に生き方を変えようと思った。なぜか、火葬場で娘を送るとき、本当に人は何も持たずに死んでいくと感じたから。偉い人も金持ちも死ぬときを言う暇があれば、自分の部下やお客様が、一秒でも多く笑顔になるように生きていくと決めた。

今後、急激な人口減少が現実となる。その時代が、どんな世界かを想像して子育てしているかが大切。大人が勉強すべきことは、未来の想像のためにもっと情報に触れること。インターネットに弱いというのは危険。世界中の情報がインターネットに開示されている。クラウド上のインターネット情報は日本語は5%。約60%が英語。日本人のアクセスはほぼ全てが日本語。片仮名「ステイティブ・ジョブズ」で検索なら1,000万件以上だが、英語「Steve Jobs」で検索すると3億件以上。この情報量の差、日本語でしかアクセスできない民族がこれから世界に勝てるか。

学生にはこんな話も。自分がやりたいことを真剣に考える。毎日よくよくしないで、未来の事を考えて。好奇心を養う。差は集中力だけ、周りの人との比較で悩んだりしなさい。笑顔が大切。人と違うというところが大切。ラインやメールでしか会話出来ない人は会社にはいられない。柔軟なことが大事で、自分の周りに起こる変化を真っ直ぐ受け入れる。被害者意識でこれだけは言っておかない。等々。PTAの講演会なのでこれだけは言っておかない。等々。ビジネスで一番大事なのは体力。勉強も大切だが体力の

無い人には大きなプロジェクトは任せられない。私が成り上がった理由は体力。学校から社会人の何十年間で、たった一度しか休んだことがない。親に強靱な体をもったことが、私の成功、勝ち抜いてきた一番の材料。それから人間は失敗を重ねる。要は、子どもがどこまで学校に入ってから留年ダメ、浪人ダメみたいな教育は止めた方がいい。失敗もしたことの無い人が人の上に立たなければならぬ。失敗もしたことになるか。傷を持ったリーダーは若者や社員にも優しくなれる。たくさんさんの小さな失敗をして欲しい。

『Think Different』私の大好きな言葉で、潰れかけたアップルに戻ったSteve Jobsが1997年に世界へ発信した言葉。当時Apple Computerというコンピュータメーカーの会社が、2001年に携帯音楽プレーヤーiPodを売り出し見事に復活した。今は会社もAppleで、コンピュータ以外の物も販売している。「我々は変わる。ただ変われば変わる人間、もしくは世界を変えられる人間は初めから自分自身しか変えられない」という信念や覚悟がある。ここが一番大事。

私の会社は「日本のVisionは『Think into the future』。日本という最高の国に生まれたい。日本から世界へ最高の製品やサービスを発信し、応援すること。



私のMissionは三つ、「20~50代のリーダー教育」、「世界の英語教育」、「リーダー教育も若い人が心に関与できる教育」、「リーダー教育も若い人が心に関与できる教育」。皆さん、今日の話を聞いてくつか意識が変わったとか、世界を飛び回ってきた私(山元)が話す少し違う観点が有るなと、やはり同じように感じているなと、いくつかが気が付きれば刺激に変えて下さい。[文責: 泉P連]

発信中

専門委員会 活動報告

総務委員会

委員長 宇田 直人

平成28年時代にあった事業運営を継続的に実施して行くために未来像検討チームが発足し、議論を重ねてまいりました。本年度は財源確保のため、やむを得なく会費の値上げをご承認いただきました。

総務委員会としては委員の皆様にご理解を頂きながら、スピード感を持って進めるべきものと、慎重に進めるべきものを見極めながら対応をしております。

今後とも私たちは継続的に議論を重ね、より良いPTA運営のため改革を進めて行かなければなりません。引き続き皆様のご理解とご協力をお願い致します。

研修委員会

委員長 川本 務

今年度の研修委員会は、単P役員研修会及び県PTA大会のほか、県教委や校長会との懇話会をおこないました。

懇話会では教育に深くかわかっておられるそれぞれの立場から、今の子どもたちのことや保護者のことなど、いろいろな意見を聞くことができました。

特に今年度は教職員の働き方改革がはじまり、普段の取り組み状況、克服すべき課題を知ることができ、学校・家庭・地域のさらなる連携の必要性を感じました。

また、事業見直しの一環として、県教委の発行するチラシの内容との重複を考慮し、「親子の会話、応援」を廃止いたしました。

子ども教育環境委員会

委員長 青木 明子

現代、子どもたちを取り巻く環境は短期間でも新しい情報がインターネットを介し溢れ様々なトラブルや犯罪が今も尚、発生しています。このため当委員会では、いしかわネットモラルキャラバン隊を結成し、各地域で情報モラルの重要性を子どもたちに一番近い保護者に周知する取組をしました。

また、三行詩コンクールでは、家族のルール・親子のきずな・命の大切さを読み、短い文章の中に表現されるコミュニケーションの大切さを感じながら選定しました。どの応募作品にもそれぞれの思いが込められ素敵でした。

今後とも子どもたちへの健全な育成は一番身近な家庭からという思いを活動に活かし、活動を継続推進していきます。

広報委員会

委員長 輪瀬 薫

昨年度、石川県PTA連合会のホームページがリニューアルし、今年度は委員の皆様にもより身近に興味を持つて閲覧していただくような取り組みを行いました。具体的には、単P役員研修会(6/29)、石川県PTA創立70周年記念大会(12/1)の様子をホームページで速報アップし、より多くの記録写真の撮影に努めました。また年二回発行の広報紙「PTAいしかわ」では、県P連の活動を詳細に伝えました。

単位PTAの広報紙コンクール(29年度分)では例年以上の応募をいただき、各単P会員に興味を持っていただいている様子がうかがえました。

今後とも会員の方に県P連の色々な活動を情報提供できよう、ホームページ・広報紙での発信に努めたいと思います。

家庭教育委員会

委員長 山崎 綾子

今年度は年間3回の委員会を開催しました。

第1回には、各市町PTA委員の方々や今年度の活動について意見交換をし、参加型の活動をする事に決まりました。

第2回には、ミナトフーズさんを講師にお招きし、中登中学校調理室にて、地域食材を活かした「食」で食糧生産に講話と調理実習を行いました。講話では、金時草はカルシウムが多く免疫力アップ、加賀レンコンはポリフェノールやビタミンCなどの栄養価があり、また、かきますなど能登産の旬の魚の捌き方についても教えていただきました。

調理実習でもレシピを参考に各自が川産の食材で5品を作りました。

委員の方々から「子どもが喜びそう、家でまた作ってみよう」「楽しく有意義な時間が過ごせた」などたくさんのお声をいただきました。

第3回には、各市町PTAの活動報告をもとに意見交換し、一年間を振り返りました。

委員さんから出された意見や来年度の取り組みに生かしていきたいと考えております。



Advertisement for Soroban (abacus) lessons. It features a young girl smiling and holding a soroban. Text includes: 「日本のそろばんから世界のsorobanへ!」、体験学習受付中、全国珠算教育連盟、石川県支部、076-252-8881. There is also a QR code and a search bar.

Advertisement for a school. Text includes: 鹿島朝日高等学校、通信制課程、通信制の高校生活は楽しい!、入学相談会開催!!、学費は年間10万円程度!、スクーリングは地元で!、080-3059-5961.



### 能美市立 鹿口中小学校父母と先生の会

#### 研究主題

読書に親しむ子ども達の育  
成  
くしゅつ読書！PTA大  
作戦！

#### 特色ある活動

PTA生活4目標「家族で  
読書の時間をつくらう」から  
2つの取組を紹介しします。

##### 1.スタンプラリー

スタンプラリー用紙の表に  
は、一冊読むごとに本校の校  
区の地名が書いてある部分  
に色塗りをします。裏には

読んだ本の感想を書きます。

休憩地点と

ゴールに到着

したら、十一

種類のキャラ

クターのおお

りがもらえま

す。児童会図

書委員会主催の読書集会で、

PTAから全校児童にスタン

プラリーの説明をしました。

開始翌日から、スタンプラ

リーを楽しみ子どもたちで

図書室は大賑わいしまし

た。抽選箱を作り、しおりを

引くことにしたことも効果的

で、子どもたちが本を読む機

会が増えました。

2.おすすめ本レター

おすすめ本レターとは、子

どもたちが好きな本をおう

ちの人におすすめする手紙で

す。書いた手紙を封筒に入れ

て宛名を書き、子どもが自

分で自宅の郵便受けに入れ

ます。子どもがおすすめる

本を読んで、読書の楽しさを

共有し、家族で楽しく読書

に関する会話をすることがで

きました。家族の方にも、読

書の楽しさに

気づいてもら

い、家族読書

の時間を増や

すことができ

ました。

### 金沢市立 森本中学校PTA

#### 研究主題

「生徒の防災意識を高める  
ための取り組み」  
くもり断層帯その  
時にそなえて

#### 特色ある活動

森本中学校直下を縦断す  
る『森本・富樫断層帯』で  
地震が発生したときに、生

徒たちが適切に行動できる

ように、日常の備えや防災

の大切さを親子で学び、個々

の防災意識を高めるための

取り組みを行いました。

##### 1.文化祭 愛好避難所

本校の文化祭で『愛好避

難所』を開設し、防災体験

や防災に関する展示などを

実施しまし

た。多くの生

徒が参加し

アルファ米

の試食や段

ボールベッド

作りを体験

しました。

##### 2.アンケート・クイズ

防災に関する意識の調査

や防災意識を高めるための

『アンケート・クイズ』を実

施しました。このアンケー

ト・クイズは、各家庭にお

いて防災意識を高めていた

だく為に、保護者の方にも

ご協力いただきました。

##### 3.講演会

中学校にご協力いただき、

授業の一貫として防災活動

アドバイザーによる『講演

会』を実施しました。講師

の方には、防災の知識や日

頃の備えに関

する講演に加

え、アンケー

ト・クイズか

ら出た疑問に

も答えていた

だきました。

### かほく市立 河北台中学校PTA

#### 研究主題

地域とともに子どもをは  
ぐくむPTA活動  
く地域ボランティア活動  
を通して

#### 特色ある活動

##### 1.親子ボランティア

生徒が地域へ出てボランテ

アの活動等に取り組むこと

により、ふるさとへの愛着や

地域の一員

である事へ

の自覚を高

めることを

目的に地域

交流を行っ

ています。

その交流の一環として、毎

年2月に公民館の清掃ボラ

ンティアを親子で行ってい

ます。大勢で清掃するので、普

段できない場所まできれいに

でき、地域の方々に喜んで

らえています。

##### 2.ヘルプマーク

今年度新たに生徒会及びP

TA役員が中心となり「ヘル

プマーク」の啓発活動に取り

組んでいます。この「ヘル

プマーク」とは、広く援助や配

慮を必要としていることが外

見では分からない人々が、周

りに配慮が必要なることを知

らせるマークのことです。知っ

てもらった為にホスター等を用

いて、PTA奉仕活動、体育

祭や文化祭等で啓発活動に

取り組みま

した。

### 志賀町立 志賀小学校PTA

#### 研究主題

学校・家庭・地域と連携  
したPTCA活動の活性  
化をめざして  
く学校と地域をつなぐ学  
校支援と広報活動の充実  
を通して

#### 特色ある活動

##### 1.志賀小安全マップづくり

生活部では昨年計画し

ていた『志賀小学校安全マッ

プ』の作成に取り組みまし

た。7つの学校が統合した校

区はとても広く、フィールド

ワーク当日は、児童・保護者

に加え、地域の方々や安全ボ

ランティアとの連携・協力を

図りながら、交通安全・災害

安全・生活安全の視点で危険

個所の情報収集を行い、生活

部員や保護者・児童で情報整

理を行い、完成した安全マッ

プを使い、夏休み前に全保護

者・児童に危険個所を周知し

ました。

##### 2.地域巡りパート1 鷺池

統合で旧志賀町すべてが校

区となり、自分の地域しか知

らない児童が多いことから、

教養部が7年間で校区を一

周する「地域をめぐろう」を企

画。今年は第一弾として堀松

地区に伺いました。石川県希

少野生種でトミヨという魚が

生息している鷺池の観察会に

親子で参加し、交流と地域理

解を深めました。

### 穴水町立 向洋小学校PTA

#### 研究主題

「学校とつながりを深め  
合うPTA活動」ふるさと  
と教育「大好き穴水！ふ  
るさと再発見」における  
連携

#### 特色ある活動

##### 1.PTA親子行事

本校は、平成20年に住吉

小学校・鹿波小学校・兜小

学校・諸橋小学校の4校が

統合して以来、4つの地域

を知ることなをねらいつて

教育委員会や地域と連携を

図りながら「ふるさと教育」

に取り組んでいます。

昨年度から、さらなる充

実を図るために、PTA主

催の親子行事にも「ふるさ

と教育」を取り入れていく

ことにしました。今年度も、

1年生は「きび団子作り」、

2・3年生は「藍染め体験」、

4・5年生は「かぶら寿司作

り」、6年生は「鎌物の校章

ストラップ作り」を行いま

した。どの親子行事も、地

域の方々に教えていただき

ながら、穴水町の伝統文化

に触れ、親子で地域の良さ

を改めて感じるることができ

る活動となりました。

##### 2.子どもの安全を守る取組

毎年、4月と9月にバス

停に立ち、安全指導を行っ

ています。また、5年生は

親子によるAED講習会が

あり、消防署の方のご指導

を受けています。その他、

夏休みの自由プールでの監

視など、今年度も、PTA

として、子どもたちの安全

を守る取組を行っています。

### 石川県PTA連合会 総合保障制度のご案内

「小中学生総合保障制度」  
は大切なお子様が万が一  
けがをしたり、思わぬ事故  
にあたりした場合、けが  
や災害の補償をするので  
す。あるいは自転車で相手  
にけがを負わせてしまった  
り、不注意で他者の財産を  
傷つけてしまったたりした場  
合の個人賠償責任の補償も  
します。  
昨年度から石川県では金  
沢市において、小・中学生  
に対し、自転車保険加入の  
条例が施行され義務付けら  
れました。今後、この様な  
動きは県内にも、また、全  
国にも広がっていくことと  
思います。

「石川県PTA連合会小  
中学生総合保障制度」は、  
児童・生徒（賠償分野では  
保護者を含む）を24時間  
守る任意加入の補償制度で  
す。本年度は、約一万七千  
件の加入者があり、保険金  
の支払い額が九月末時点で  
約一千七百万円に達してい  
ます。それだけ多くの方が  
この制度を利用し、補償を  
受けることができたわけで  
す。「県内のより多くの児  
童生徒とその家族に、万が  
一の場合の補償と安心をお  
届けしたい」という導入の  
趣旨が生かされ、お役に立  
てたものと思います。

「小中学生総合保障制度」  
は、あくまで任意加入の保  
険制度ですが、児童・生徒  
とその家族に安心をお届  
けできるものと思います。  
(県庁連のホームページで制度  
の内容を閲覧できます)



## 小中学生総合保障制度 (子ども総合保険+自転車総合保険)

石川県PTA連合会

2019年2月現在の内容です。  
[5]受幹事保険会社] .....  
AIG損害保険株式会社 金沢営業支店  
〒920-0919 金沢市南町4-60 金沢大同生命ビル2階  
☎076-222-0005 (平日9:00~17:00)  
[担当保険代理店] .....  
株式会社エス株式会社  
金沢市北安江2-24-8  
株式会社トライ  
金沢市古府1-185 修和ビル2階

加入実績 約17,000名 (平成30年度)  
割引率 約45% (平成31年度)  
加入者のお子さまを補償期間(保険期間)中、  
1日24時間補償します  
学校が休みの日でも  
自賠責条例対応  
金沢市では、自転車保険の  
加入が義務化されています。

・加入書類は平成31年度入式・始業式後等に学校を通じて配布します。(一部地域を除く)  
・既にご加入されている方は、3月頃に「自動更新のご案内」を郵送しますので、ご確認ください。  
・制度の詳細につきましては、各学校で配布されるパンフレット・重要事項説明書をご確認ください。  
・ご不明な点がございましたら上記の引受幹事保険会社までご連絡ください。



